

令和7年度地域連携支援事業補助金 事業報告書（ダイジェスト版）

プロジェクト名	天平の古道を中心とする宮津市府中地区の古道の管理と歴史体験ツアーの実施
代表者	嵯峨美術大学 芸術学部 デザイン学科 教授 小畑 博正
実施期間	令和7年8月8日～令和8年1月24日
事業の背景・目的	<p>京都市中におけるオーバーツーリズム緩和、京都府北部(海の京都エリア)への観光客分散化施策として、同地域の観光資源の再構築を行うことが急務である。京都の観光の潮流の変化の途上である本年、丹後地域へ活動範囲を拡大し、地域文化研究での新たな観光資源の創出と活用、発信による観光の質の転換を図り、観光集客課題解決のための一助となる取り組みとしたい。</p> <p>また、府中地区への交流人口と定住人口拡大を目的として、地域の魅力を学生(若者)目線で発信することで、地域の活性化を図る。</p>
事業内容	<p>天平の古道を中心とした地域観光資源の再構築を図り(魅力ある観光資源の洗い出しとお宝探し)、その上で地域外ファン拡大のためのイベントを実施し、地域外から誘客を図る。これにより地域へリピートしてくれる地域外ファンの獲得に繋がる取り組みとする。</p> <p>天平の古道を中心とした宮津市府中地域の地域文化研究からスタートし、地域を理解し、地域と協力しながら地域観光資源の再構築を図り、魅力ある新たな観光資源の創出による観光の質の転換を図り、観光集客課題解決のための一助となる実践的プロジェクトとする。</p> <p>天平の古道を中心とした地域のイベントを実施し、地域外ファン(交流人口拡大)を呼び込み、最終的には地域外ファン(定住人口)拡大に向けた取り組みを行う。歴史体験、農業体験ツアーやアートイベント(デッサンコンテスト)などを学生と地域が協力し実施する。</p>
事業の成果	<p>11/29(土)の地域の子供たちとのワークショップイベントがインフルエンザ禍により1/24(土)に延期となり、延期した1/24(土)も京都府内の大雪のためオンライン開催となり、対面での交流事業はできなかった。しかしながらオンラインではあったものの十分な交流を実施するに至った。</p> <p>今回、天平の古道を中心とした地域の集客ツアーは実施できなかったが、地域外ファン(交流人口拡大)を呼び込み、地域外ファン(定住人口)拡大に繋がる活動となることができた。</p>
今後の課題・展望	<p>地域に貢献できる観光資源とは何かを体験した学生は今後様々な地域貢献を実践していくうえで貴重な体験となり、実施する行政や地域企業、組織と協働する経済活動がいかに重要で価値のあるものかを学んでいくことができた。</p> <p>この事業でアートを学ぶ学生が地域と協力し活動した軌跡は、宮津市府中地域の新たな観光資源としても活用されていくことになるであろう。</p>